

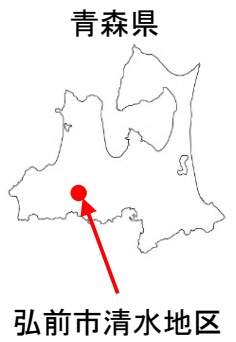
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 果樹と水稲の生産を主体とする平地農業地域。
- 高齢化に伴う労働力不足により水田の耕作放棄が増加しており、担い手への農地集積及び高収益作物を中心とした営農体系や高品質・高収量の大豆生産への転換等を進めている地区。

【支援内容・背景】

- 担い手への農地集積を図るため、機械化・省力化に向けた支援が必要。
- 助成対象者は、大豆を主軸とした経営を行っており、耕作放棄された水田等で大豆を栽培することで、遊休農地の解消及び発生防止に尽力。水田を所有する地区農家からの作業受託等の増加に対応しながら、技術指導等担い手育成へ向けた取組や地域住民の雇用等、持続可能なむらづくりをけん引している。このため、本地区の中心的な担い手として機械化・省力化による更なる経営発展を支援。



助成対象者「農事組合法人しみず」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成23年 当該地区の若者3名で「弘前清水みらい組合」(法人の前身組織)設立
- 平成24年 法人化(農事組合法人しみず)設立
経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

○ 農地の集積を進めるためには作業の省力化、経営発展のためにはコストの縮減が不可欠。よって、収穫作業の省力化及び収穫した大豆の自社乾燥、選別によるコスト縮減に資する農業用機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R元年度〉

- 付加価値額 33百万円
- 経営面積 49.7ha (大豆、にんにく)
- 地域住民年間雇用数 延べ610人

《事業による整備内容》

- 汎用コンバイン 1台
事業費 8,910千円 (国費 4,025千円)
- 乾燥機 一式
事業費 8,851千円 (国費 3,987千円)
- 選別選粒機 1台
事業費 2,805千円 (国費 1,265千円)



【現在の経営状況】
〈R4年度〉

- 付加価値額 40百万円(121%)
- 経営面積 64.0ha(129%) (大豆、水稲、ピーマン)
- 地域住民年間雇用数 延べ800人(131%)

事業の
効果

《対象者》 経営面積の拡大及びコスト縮減が実現するとともに、付加価値額が拡大。
《地 区》 担い手への農地集積により、地区における耕作放棄が抑制。また、地域住民の雇用も拡大。